

2月11日

日本聖公会 組織成立記念日

(1887.2.11)

英国国教会の流れをくむ聖公会の信仰は、英国の伝道協会である CMS や SPG、米国聖公会、そしてカナダ聖公会からの宣教師によって伝えられて来ました。彼ら宣教師たちは、19 世紀後半における本国での教会の神学・礼拝様式に基づいて、宣教を行っていきます。その結果日本聖公会には、カトリック主義、福音主義、リベラル・カトリック主義という異なった神学的立場の教会が建てられていくことになります。

また、1886 年～88 年には、プロテスタント諸教派においても日本に対するキリスト教伝道が活発に行われ、そのうちキリスト教が日本の国教になるのではないか、と思われるほどでした。

その中、英国のビカステス主教と米国のウィリアムズ主教は、1887 年 2 月 11 日、日本聖公会創立の第一回総会を大阪で開催します。前述のように英米の宣教師に神学的立場の違いがありましたが、ビカステス主教の学識と手腕、そしてウィリアムズ主教の謙虚な協力によって、この総会で組織が成立します。彼らは日本聖公会の自治・自給・自主伝道の三原則を目的とし、神学的主張の相違を乗り越えて一致協力する道を見出していきます。この時に二人の主教が



日本聖公会の拠って立つ基盤としたのが、1886 年に米国聖公会シカゴ総会で決議され、総会の翌年 1888 年のランベス会議で決議するべく、原案として用意されていた『シカゴ・ランベス四綱領』でした。この『四綱領』は日本聖公会の「法憲」の中核を担います。その後法憲法規は整備されていき、今では四綱領は法憲からは独立して、「聖公会綱憲」と呼ばれています。

この「聖公会綱憲」は現在、毎年作られる聖公会手帳の 1 ページに書かれています。そしてその内容は、聖書に関すること、信経に関すること、聖奠に関すること、そして 3 職位に関することとなっています。私たちはいつでもその内容を確認できるようになっています。

<特禱>

全能の神よ、あなたは福音の光によってこの国を照らし、わたしたちを使徒たちからの唯一の聖なる公会に召し、主に仕えさせてくださいました。どうかこの恵みをますます感謝し、信仰の道を正しく歩むことができるように導いてください。また、み名を唱えるすべての人を祝福し、み子にあって速やかに一つにしてください。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン